

## 「5G 活用で国際空港の安全・サービス向上 産学協同チームの実証試験成功」

次世代移動通信システム「5G」を活用して国際空港での安全と海外からの旅行客に対するサービスを高める実証試験に成功した、と産学協同の研究開発グループが 10 日発表した。



京浜急行電鉄羽田空港国際線ターミナル駅ホームでの 5G 実証試験イメージ（国際電気通信基礎技術研究所プレスリリースから）

5G は、現在の移動通信システムである 3G や 4G を発展させた「超高速」移動通信を可能にするだけでなく、「多数接続」、「超低遅延」といった特徴も併せ持つ次世代の移動通信システムとして期待されている。実証試験は、2018 年 11 月 21 日から 12 月 21 日にかけて、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、KDDI 株式会社、パナソニック株式会社、早稲田大学、京浜急行電鉄が共同で実施した。試験が行われたのは東京都大田区の京浜急行電鉄羽田空港国際線ターミナル駅ホーム。28 ギガヘルツ帯の実験エリアが構築され、まず、駅ホームに設置した固定カメラとホームを見回るロボットに搭載された 4K カメラの映像が、5G を通じてモニターや VR(仮想現実)ゴーグルへ送信された。

送信された 4K 映像をサーバーで収集・分析し、2K 映像では発見できない刃物を検知したり、見回りロボットが不審者を見つけて駆けつける。さらに 5G タブレットを用いて同時翻訳した情報や、精細な 4K 画質による観光案内映像を外国人旅行客に配信する、といった試験も行われた。

5G の早期実現を目指す国際競争は激しさを増しており、米中の貿易摩擦も 5G が対象の一つといわれている。中国からの報道によると、中国の苗圩工業情報相は 10 日、5G に対応したスマートフォンやタブレット端末の商品が今年後半に中国で市場投入されるとの見通しを示した。

日本では、総務省が 2020 年度の実現を目指し、2017 年度から 5G 総合実証試験をスタートさせている。今回、成功したと発表された実証試験は 2018 年度に総務省が進めている六つの 5G 総合実証試験の一つで、屋内での超高速通信の実現を目指したものだ。研究開発グループは、今回、羽田空港で実施した実証試験のほか、スマート工場や学校教育での 5G 活用を目指した高精細映像伝送試験も担当している。

小岩井忠道 JST 客観日本編集部

#### 関連サイト

国際電気通信基礎技術研究所プレスリリース「国内初、駅ホームにおける「5G」を活用した安全・安心のための実証に成功」

<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2019/01/10/3553.htm>

総務省プレスリリース「平成 30 年度 5G 総合実証試験の開始」

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kiban14\\_02000347.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000347.html)

#### 関連記事

2019 年 1 月 11 日 SPC デイリーチャイナ「今年後半に 5 G 商品＝中国、実用化加速」